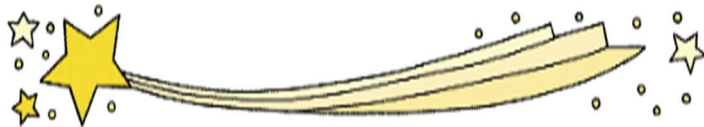


もぐもぐだより

宮津市学校給食委員会
 献立作成部会
 令和5年7月7日
 No.2

7月7日は七夕





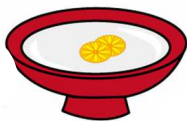


7月7日の七夕は季節の節目となる五節句の一つです。中国から伝わった『織姫と彦星』の伝説と、日本の『棚機津女』の伝説がもとになって、現代のようなお祭りが行われるようになったと言われています。

七夕には「天の川」に見立てたそうめんを食べる風習がありますが、これはそうめんの原型となった「索餅」が平安時代に七夕の儀式でお供えされたことにちなみます。

五節句とは…?

次の5つの節句のことを五節句と言います。それぞれ特別な料理が用意され、邪気(病気などを起こす悪いもの)を払い、無病息災などを願う行事が行われてきました。

1月7日	3月3日	5月5日	7月7日	9月9日
人日の節句 (七草の節句)	上巳の節句 (桃の節句)	端午の節句 (菖蒲の節句)	七夕の節句 (笹の節句)	重陽の節句 (菊の節句)
		ちまき 		
七草がゆ	ちらし寿司	かしわもち	そうめん	菊料理

索餅って?

中国から奈良時代に日本に伝わった唐菓子の1つで、そうめんの元祖となったとも言われている食品です。小麦粉や米粉を練り、縄のようにねじって乾燥させたり、揚げたりしたものです。麦縄とも呼ばれています。



今日の給食では、天の川に見立てた七夕ゼリーや七夕そうめんを手作りします。七夕ゼリーは、サイダーとかき氷シロップ、みかん缶を使った手作りのゼリーです。今夜は、彦星と織姫のことを思いながら、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

給食では、昔からある日本の行事食や食文化を大切にしています。ぜひご家庭でもお子様と一緒に考えてみてください。